

Nara National Museum

奈良国立博物館 だより

第80号

平成24年 1・2・3 月



重要文化財 伝福岡県出土品のうち宝塔形経筒(永久四年銘)・如来像/当館蔵 一名品展「珠玉の仏教美術」より一

特別陳列

おん祭と春日信仰の美術
～1月15日(日)
東新館

お水取り
2月11日(土・祝)～3月18日(日)
東新館

名品展

珠玉の仏たち
通期開催
なら仏像館

中国古代青銅器
通期開催
青銅器館(坂本コレクション)

珠玉の仏教美術
～3月18日(日)
西新館

天川弁才天曼荼羅	能満院
吉祥天曼荼羅(湛海筆)	宝山寺
毘沙門天像	知恩院
毘沙門天像	法隆寺
▼1月24日～2月19日	
阿弥陀浄土図	法輪寺
阿弥陀八大菩薩像	松尾寺
阿弥陀如来像	極楽寺
阿弥陀五尊像	一乗寺
阿弥陀聖衆来迎図	松尾寺
阿弥陀如来像	西教寺
阿弥陀三尊来迎図	十輪寺
阿弥陀聖衆来迎図(迅雲弥陀)	西教寺
阿弥陀聖衆来迎図	阿日寺
四十九化仏阿弥陀来迎図	光明寺
阿弥陀聖衆来迎図	大蔵寺
阿弥陀浄土図	当館

清海曼荼羅	聖光寺
◎当麻曼荼羅	西教寺
当麻曼荼羅	西来寺
観経序分義変相図	当館
覚禪鈔 阿弥陀法	勸修寺
浄土五祖絵 断簡	個人
◎當麻寺縁起絵巻 下巻	當麻寺
夢窓疎石像	慈濟院
無極至玄像	慈濟院
達磨図	慈濟院
▼2月21日～3月18日	
◎金光明最勝王經玉塔曼荼羅大長寿院	当館
◎華嚴五十五所絵	家原寺
釈迦三尊十六羅漢図	頼久寺
◎釈迦三尊像	頼久寺
十六羅漢図	頼久寺
普賢菩薩像	一乗寺

◎普賢菩薩像	当館
◎普賢十羅刹女像	当館
法華曼荼羅	下部神社
法華経曼荼羅	当館
◎扇面法華経	西教寺
聖徳太子絵伝	個人
天部像屏絵	東福寺
◎仏涅槃図	長命寺
◎仏涅槃図	正暦寺
◎仏涅槃図	浄土寺
◎釈迦八相成道図	橘寺
◎八相涅槃図	大福田寺
	劔神社

※◎＝国宝、◎＝重要文化財
※すべての展示において、内容を一部変更する場合があります。

◆奈良国立博物館賛助会

平成23年12月1日現在、一般会員(個人)37名、一般会員(団体)19団体、特別会員5団体、特別支援会員5団体のご入会をいただいております。新しく加入された方をご紹介します。

【特別支援会員】 有限会社 日本クリーンシステムズ 桃谷 様
(平成23年10月ご入会)

【一般会員(団体)】 西部日本エンタープライズ株式会社 様
(平成23年10月ご入会)

【一般会員(個人)】 細野 力哉 様 (平成23年12月ご入会)

◆キャンパスメンバーズ

平成23年12月1日現在、「キャンパスメンバーズ」の会員大学等は以下の通りです。

〈会員大学等〉

大阪成蹊大学芸術学部、大阪大学、関西大学、関西大学第一高等学校・関西大学北陽高等学校・関西大学高等部、京都外国語大学・京都外国語短期大学、京都教育大学、京都工芸繊維大学、京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学部、京都精華大学、京都大学、京都橘大学、京都伝統工芸大学校、京都文教大学・京都文教短期大学、近畿大学文芸学部・近畿大学大学院文芸学研究科、実践女子大学・実践女子短期大学、就実大学人文学部、帝塚山大学・帝塚山高等学校、天理大学、同志社大学・同志社女子大学・同志社高等学校・同志社香里高等学校・同志社女子高等学校・同志社国際高等学校、奈良教育大学、奈良県立大学、奈良工業高等専門学校、奈良佐保短期大学、奈良産業大学・奈良文化女子短期大学・奈良文化高等学校・奈良学園高等学校・奈良学園登美ヶ丘高等学校、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良大学、佛教大学、龍谷大学・龍谷大学短期大学部(五十音順)(平成23年12月1日現在)

【表紙写真解説】

重要文化財 伝福岡県出土品

平安時代 永久四年(一一一六)
総高四五・六cm

経筒は、末法の世において仏の教えを残すため、写経した経巻を地中に埋蔵する際に用意された容器である。平安後期には様々な材質や形の経筒が作られたが、本品は銅製経筒のなかでも指折りの優品に数えられる。

鋳銅製の宝塔形経筒で、塔身・屋蓋・相輪の三部材からなる。屋蓋は宝形造で、隅木先には風鐸を吊るす。棟勾配が緩く伸びやかな様はいかにも平安時代の建築を思わせる。塔身は側面に扉を線刻し、底には円形の銅板を嵌め込んでいる。銅板の内面側には永久四年(一一一六)に僧良梨多治宮行、高橘延国らを勧進として藤原氏の母の菩提を弔う旨の願文が針書されている。この銅板に生じた緑青の様子から、二軀の仏像と経巻が経筒内に納められていたことが分かる。仏像は二軀とも鋳銅鍍金の如来立像で、『法華経』見宝塔品に説くところの釈迦と多宝の二仏と推測される。当時の金銅仏の年代的定点とされる貴重な資料である。

吉澤 悟(学芸部教育室長)

● イベント ●

1月2日(月・振替休日)入館者先着100名にオリジナルグッズプレゼント

1月22日(日)奈良国立博物館落語シリーズ「第13回 まほろば寄席」
午後2時～4時(午後1時30分に開場)。当館講堂にて。
定員180名(全席自由)。料金は前売2,000円、当日2,500円
(前売券が完売の場合、当日券の販売はありません)

2月12日(日) お水取り「講話」と「粥」の会
午前11時～午後3時30分頃。定員40名。参加費6,000円。

2月15日(水)文化財保存修理所特別公開
午前10時～、午後1時～、午後3時～ (各回とも同内容。約60分)
※往復はがきによる事前申し込み制。はがき1枚につき1名様。応募者多数の場合は抽選。各回とも定員40名。参加費無料。

※各イベントの詳細および申込方法は、当館ホームページをご覧ください
下記へお問い合わせください。
総務課企画推進係 TEL: 0742-22-4450(月～金の9:00～17:00)

● 公開講座 ●

特別陳列 おん祭と春日信仰の美術

1月7日(土)「春日社旧社家の大東家文書と『皇年代記』」
藤原 重雄 氏(東京大学史料編纂所助教)

特別陳列 お水取り

2月11日(土・祝)「不退の行法 東大寺修二会(お水取り)」
北河原 公敬 師(華厳宗管長・東大寺別当)

午後1時30分～3時(午後1時に開場し、入場券を配布します)。当館講堂にて。
定員194名(先着順)。聴講無料

※入場の際には、各展覧会の観覧券もしくはその半券、友の会カード等をご提示ください

● サンデートーク ●

「第三日曜日は奈良博へ」

当館では、サンデートークと称して、毎月1回、第三日曜日の午後に当館の研究員や専門家が皆さんのためにお話をしています。美術や歴史のこと、展覧会や博物館の活動など、日ごろ聞くことのできない「通」なお話を、肩肘張らずに聞くことが出来ます。当館ならではの多彩なテーマを用意して皆さんをお待ちしております。どうぞお気軽にご参加下さい。

1月15日(日)「吉祥天と金光明経の美術」
谷口 耕生(当館学芸部保存修理指導室長)

2月19日(日)「脚と格狭間」
永井 洋之(当館学芸部研究員)

3月18日(日)「奈良国立博物館の近代建築-仏教美術資料研究センター(旧奈良県物産陳列所)の過去と現在-」
宮崎 幹子(当館学芸部資料室長)

各回とも午後2時～3時30分(午後1時30分に開場)。当館講堂にて。
定員194名(先着順)。聴講無料